

- 1 学 年 小学校5年
 2 テ ー マ 流れる水のはたらき
 3 時 期 秋
 4 所要時間 前半45分・後半45分
 5 人 数 30人程度
 6 活動場所 スタディルームなど
 7 準 備 小石（2種類程度）、水、小石と水を入れるケース、岩石サンプル（上流・中流・下流）
 8 展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
<p>1 本時の学習内容を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>流れる場所によって、河原の石に違いが出るわけを考えよう。</p> </div> <p>2 石の変化を調べる。</p> <p>(1) 実験方法を確認する。</p> <p>(2) グループに分かれ、実験をする。</p> <p>(3) 実験結果や考察をワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を想起させ、本時の学習内容を確認する。(担任) ・実験方法や器具の使い方、注意点等について確認をする。(博物館職員) ・グループの実験がスムーズに進むよう支援する。(学校職員・博物館職員) ・実験の結果からわかることをワークシートに記入させる。(担任)
<p>3 結果を発表する。</p> <p>4 本時のまとめとふり返しをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめは、児童から出た言葉を使いながらまとめるようにしたい。(担任) ・河原の石の様子について補助的な内容の説明をする。(博物館職員) ・本時のふり返しを書かせる。(担任)